

奄美群島日本復帰70周年

奄美群島が日本に復帰してから、今年、70周年を迎えます。この機会に奄美の歴史について見つめ直し、平和の尊さを後世に語り継いでいきましょう。

● 日本復帰までの歩み

- 1946 ▶ 北緯30度以南を分離、本土との渡航を全面禁止
- 1947 ▶ 大島郡内の市町村長会が**日本復帰嘆願**を決議集会、言論、出版の自由等が規制される
- 1951 ▶ 奄美大島日本復帰協議会結成
日本復帰請願署名運動開始
- 1953 ▶ **奄美群島返還日米協定調印**
奄美群島日本復帰(12月25日)

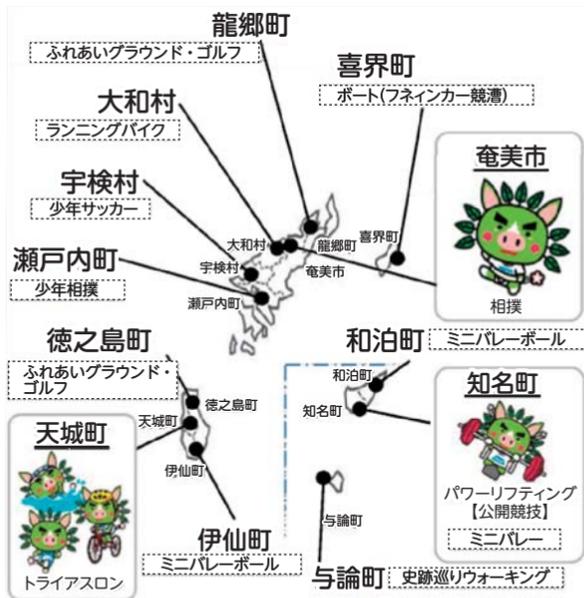
👑 奄美群島日本復帰70周年記念

いよいよ10月7日～10月17日に**かごしま国体**が開催！奄美群島で開催される各競技会には「奄美群島日本復帰70周年記念」の冠称が付されます。

みんなで応援しよう！



は県民参加型のデモンストレーションスポーツ



問い合わせ先 離島振興課 099-286-2443

屋久島世界自然遺産登録30周年

平成5年12月に日本で初めて世界自然遺産に登録されてから、今年、30周年を迎えます。

屋久島は、その**自然美・生態系**が高く評価され、“世界の宝”となりました。縄文杉や、九州最高峰の宮之浦岳を筆頭に連なる山々など、その特異な自然景観は、多くの人々を魅了し続けています。



🌱 屋久島の「里めぐり」に参加しませんか？

町内の集落と連携し、屋久島を訪れる方々に、ガイドブックには紹介されていない地元の歴史、文化、自然などの集落自慢を地元の語り部さんのガイドによって案内します！

*** 里めぐり実施集落 ***
永田・吉田・一湊
宮之浦・楠川・安房
春牧・平内・中間
口永良部島本村

島の魅力を発見する
よいきっかけに！



▲詳しくはこちら

問い合わせ先 自然保護課 099-286-2613

農業×福祉～農福連携について～

- ・ **農福連携**とは、障害のある人等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みのこと
- ・ 障害のある人等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく新たな働き手の確保につながる可能性も！



取組事例

竹炭を使った干し芋完成！



大崎町にある社会福祉法人愛生会の障害者支援施設では、地元の高齢者や障害者が放置竹林の竹材で作った竹炭を混ぜた畑で、施設の利用者によって紅はるかを育てる取り組みを行っています。収穫したサツマイモは、地元の食品加工事業者が干し芋に加工を行いました。

このような取り組みにより、放置竹林が解消されるだけでなく、竹炭が土壌改良材としてさつまいもの成長を促すことで収益性が向上し、利用者のやりがいにもつながっています。

「農福連携マルシェ」をご存じですか？



鹿児島県内の障害者就労施設等で生産された農産物や加工品の販売を通して、農福連携の取り組みを広く周知するとともに、生産に携わった方々に自信や達成感を感じてもらうことを目的に**春と秋の年2回**実施しています。

この秋は、**10月11日(水)・10月12日(木)**に鹿児島中央駅AMU広場で開催されます。県内の障害者就労施設等の利用者が心を込めて作った野菜やお菓子などが多数販売されます。農福連携の取り組みを広めるためにも、ぜひお越しください！



「かごしま障がい者共同受注センター」では、農福連携推進専門員を配置し、障害者就労施設等と農業者等のマッチング支援や、相談対応を行っています。

詳しくはこちら▶



問い合わせ先 障害福祉課 099-286-2749